

広報

# くにみ

No.290

1997

8



月

平成9年8月15日……………



7月5日、大枝季節保育所の園児たちが、地区のお年寄りを招いて交歓会を開きました。歌やダンスを披露した後、14人の園児全員で「白雪姫」を演じました。

長いせりふもきちんといえたり、しくさもじょうずにできました。一生懸命な園児たちに、たくさんのお拍手が贈られました。

鏡よ、鏡、

この世で一番

美しいのはだれ？





# 助け合い、支え合いたい。

ボランティアということばを見聞きしたとき、つい、身構えてしまいます。どうしてなんでしょう。片仮名だからでしょうか。それとも、みんなが忙しすぎるからでしょうか。

でも、ちょっと思い出してみてください。私たちの町には、今でも農作業を互いに助け合う

「結」や隣近所の「お手伝い」があることを。

人に優しい町づくりを進めている国見町。

身体に障害を持つ人が困っているのを目にしたなら、あるいは一人暮らしのお年寄りがあんなの近くにいるのなら、気づかう心が、きつと信号を発するはずですよ。

ボランティアは、決して難しいことではないのかもしれない。

二十七歳のとき、事故で生活が変わった。

歩きたいのに、歩けない。

腰から下が動かない。

二年に及ぶ入院とリハビリ。

病院のベッドの上で、歩いたり

走ったりしている夢を何度も見た。

車いすが手放せない仲間から車いすバスケットボールに誘われたのがきっかけで、障害者のスポーツを始めました。

平成七年に福島県で開かれた

全国身体障害者スポーツ大会で

は、車いすバスケットボール競

技の会場で、福島県チームのキ

ャプテンとして選手宣誓までさ

せてもらいました。

今は、バスケットボールの持

久力をつけるために始めた車い

すマラソンが主になっています。

毎年開かれる東京シテイー



車いすランナー 松浦辰雄さん



車イスで力走する松浦さん。この写真もボランティアが撮影したものの。  
(大分国際車イスマラソンで)



## 身障者も 健常者も 自然な関係

マラソンや大分国際車イスマラソンなどに出場しています。そして昨年、自分の力を試したくて、とうとうホノルルマラソンにまで出場しました。

### 自然さと心の強さ

バスケットボールにしても車イスマラソンにしても、大会の運営はたくさんボランティアに支えられています。彼らは私たちの手助けをするために、いろいろな役目を担っています。彼らの仕事ぶりを見て、いつも感心するのは、彼らの自然さです。ですから、私たち身障者も気軽に声をかけることができました。

ホノルルマラソンのボランティアたちは、国内のボランティアとはまた少し異なっていました。

私たち身障者の選手が自分しななければならないことには手を貸しません。身障者自身がすべきこと、ボランティアがしなければならないことをその場でできちんと判断し、行動していました。

それが決して冷たい態度というのではないのです。彼らの行動の基本は、相手がたとえ障害

を持つ人であっても一人の人間として向き合おうとする心の強さなのだと思えます。

障害を持つ人の中には、家に閉じこもってしまう人も少なくありません。私もそうでした。でも、そんな気持ちに負けずに思い切って外に出てみると、これまで気づけなかった人の優しさや生きることのすばらしさを感じることがあります。

### それぞれの勇気

車イスの生活で一番困るのは段差だということをみなさんご存じでしょうか。低い段差なら、自力で何とかできることもあります。駅や歩道橋、地下歩道の階段はどうしようもありません。そんなとき、私はためらわずに近くを歩いている人に声をかけます。

身障者の勇気と健常者の勇気。

みなさんも困っている身障者やお年寄り、子どもを見かけたら、恥ずかしがらずに手を貸してあげてください。そういう、ちよつとした気づかいを、心からありがたいと思う人たちがいるのだということを心に留めておいてください。



# 子どもが好き。人間が好き。



保育ボランティア

宮本

のぶ  
さん

気ぜわしい子育ての毎日。母親であっても自分を振り返ることは貴重なこと。たくさんの未来を持った子どもたち。その子たちを育てている若い母親への手助け。お世話になった人たち、地域への恩返し。

## お母さんたちを応援

私はこれまで、福島警察署で少年補導を、県警本部では青少年の電話相談カウンセリングを担当してきました。そういつた仕事をしている間も、子どもたちと接するボランティアのようなどことをしたい、地域の人たちともっと交わりたい、と思っていました。時間に余裕ができた今、何年も子どもたちを見守ってこられた心温かな方々と一緒に、ようやくその希望をかなえることができました。

若いお母さんたちが子育ての勉強をしている間、大切な子どもたちのお世話をしているのが私たち保育ボランティアです。子どもはあつという間に大きくなるとはいえず、毎日毎日、子どもと一緒にいるお母さんにとつてはたいへんなことです。そ

んな子育ての期間中でも、お母さんが自分を振り返る時間を持つことは、とても大切なことだと思います。

子育てで教室生のお母さんたちは、若々しく、生き生きしています。それでもときどき、いらしたり、子育てが不安になつたりすると、大事なことが見えなくなることもあるのではないのでしょうか。

子育てのことを主に、いろいろなことを学ぼうとしているお母さんたちの一生懸命さのお手伝いができることは、とてもうれしいことです。

## ありのまま受け入れる

保育ボランティアをしている間は、子どものしつけ方がどうか、育て方がどうか、そういうことを抜きにしてお世話をしています。



保育ボランティアの人たちを見ると「すごいな」と思ってしまいます。毎日子どもと一緒にいると、母親の私でさえ、早く大きくなれないかなと、ため息が出るほどなのに、経験の差なのでしょうか、子どもがすぐになつてくれました。優しいし、目もきちんと行き届いているし…。

人見知りかひどくて、初めは泣いてばかりいた私の子どもたちも、今ではすっかりボランティアの人たちと仲良しです。おかげで私たちは、子育て学級の講義をいつも最後まで聞くことができます。感謝しています。

私も子育てが一段落して時間に余裕ができたなら、何かしらのボランティア活動してみたいと思います。



子育て教室生 吉田育子さん

## 私もいつかはやりたいな

きょうは、お母さんと一緒にプールで水遊び。(子育て教室)

子どもたちはいろいろな個性を持っていきます。本が好きな子もいれば、走り回ることが好きな子もいます。また、すぐにお母さんが恋しくなつて泣き出す子もいます。ありのままの子どもを受け入れ、一緒に楽しんでいる自分があります。

## 恩返し

ささやかなお手伝いですが、この町が好きだから、子どもが、人間が好きだから、人と地域と交わっていきたいと思いま

す。  
人のために何かしたいけれど、何をしたらいいのかわからないという方は、何でもいから、自分でよいと思うことをやってみてはいかがでしょう。そして、素直な心で続けることだと思えます。  
夫が事故で亡くなり、十歳と八か月の二人の子どもたちと一緒に国見町へ帰ってきた私たち。この町のたくさんの方たちのおかげで、今日まで過ごしてきました。今、私がさせていただいているお手伝いは、その恩返しです。



# 子どもと一緒に楽しむ。



きびしい剣道のけいこ。  
胴着は汗でぐっしょりです。



剣道指導者 佐久間 広昭 さん

中学生のころから続けている剣道。汗が止まらない暑い夏も、足がしびれるほど寒い冬も、子どもたちはやってくる。そんな子どもたちに剣道の楽しさを少しでも伝えられたら。

剣道は個人で行なうスポーツです。相手との精神的な駆け引きが、とてもおもしろいスポーツです。また、剣道は水泳と同じように、いくつになってもできる生涯スポーツですから、七十歳や八十歳になっても試合に出ている人がたくさんいます。若い私たちは力で試合をしますが、年齢が上の人の場合は技量で戦います。中学時代からずっと剣道を続けてきた理由は、そんなところが魅力だからかもしれません。

## 25人の子どもたち

剣道スポーツ少年団の練習には、幼稚園児から高校生まで、幅広い年齢層の子どもたち二十五人が来ています。一緒に練習



私たちのスポーツ少年団で

### 親子の話し合い

剣道スポーツ少年団で指導するようになって、もう十五年ほどになります。これまで、たくさん子どもたちに出会いました。時間があるときには、中学校の剣道部の指導もしています。あるとき、中学校で教育実習をしている学生に「お久しぶりです」と声をかけられたことがあります。すっかり大人になった元団員でした。そんなときにも、ふっと、うれしくなってしまういます。

私に剣道を教えてくれた先輩たちも、きつとそうだったんだと思います。

私たちの目的は、大人も子どもと一緒に剣道を楽しむことです。ですから、私たち七人の指導者は、「ポランテアで剣道を教えているの」と尋ねられて初めて、「そうか、ポランテアなんだ」と思う程度です。また、私も他の指導者たちもこのスポーツ少年団の元団員です。私たちが子どもたちに教えてもらったように、今の子どもたちに教えています。剣道が好きなので。だから続けられるのかもしれない。決して背伸びはしません。

小学5年生と2年生、それに幼稚園児の3人が剣道をしています。小さい2人の子どもたちは始めて日が浅いのですが、お兄ちゃんは今年で4年目になります。子どもたちには、剣道の練習を通して、強い子になってもらいたいと思っています。

指導している方たちは、仕事が終わると体育館に直行して、休む間もなく子どもたちに剣道の基礎を教えています。子どもと一緒に身体を動かしながらの練習ですから、たいへんでしょうね。

練習は週に2回です。子どもの年齢に合った練習方法、練習についてこられるような工夫をしながら教えているのがわかります。たいへんさを思うたび、みなさんの一途さを感じます。

### うれしくなるとき

をしているときにはいつも、この子たちに少しでも剣道の楽しさをわかってもらえるような指導をしたいなど心がけています。だから、一生懸命練習している子どもが試合で勝ったときは、とてもうれしいですよ。暑い日も寒い日も、怠けずに練習して良かったなど、子どもと一緒に心の底から思います。

### 先輩たちもきつと

は、お父さんやお母さんに「子どもの練習ぶりを見てください」とお願いをしています。子どもの練習を見ていければ、もし、子どもが「やめたい」といったとき、親が励ますこともできるし、親子で話し合えるじゃないですか。子どもと親が、それぞれに何を考え、何を感じているのかを知ることが、とても大切なことだと思います。



いちず  
一途さが伝わってくる

団員のお母さん 吉田節子さん



# 優しくなれる。

ふれ愛グループ 佐藤美子さん



## ありがたい… 井砂みさをさん

一人暮らしは、もう十数年になります。一人暮らしになって2年ほどたったとき、転んで腰の骨を折ってしまいました。それから思うように動けなくなってしまって…。動かずにいるのも良くないからと、身体に聞きながら、なるべく自分でするようにしているのですが、すぐに腰が痛みだします。

退院してからずっと、ヘルパーさんに来てもらっています。今は、週1回です。掃除や病院での薬の受け取り、買物などをお願いしています。ありがたくて、何もいえないです。

それに、一人暮らしだと人と話するのが楽しみになります。人の顔を見ると、ほっとします。週1回、ヘルパーさんの来る日が待ち遠しいです。





話をするだけでいい。  
人懐かしさを癒すのは笑顔。  
お年寄りの喜びが、私たちを勇  
気付けてくれる。  
安らぎを分かち合うひととき、  
変わってゆく自分を見つける。

私たちの活動の趣旨は、お年寄りへの優しさの宅配です。

今、高齢者と呼ばれる人たちは、戦争へとまつしぐらに時代が突き進んでいるときに、子ども時代を過ごし、二つの戦争、敗戦、そして復興と目まぐるしく日本が揺れ動いた時代を生きてきた人たちです。

ようやく、ほつとできるはずの年齢になったときに、そのお年寄りたちが、さびしい思いをしているのでは、あまりにも切なすぎます。私たちは、お年寄りが一日一日をゆつたりと過ごしてもらえようなお手伝いをしたいなと思つて活動をしています。

### ヘルパーの資格も取得

グループの母体となつたのは、JA女性部です。高齢者問題についての学習をしているうちに、私たちにもできることがあるかもしれないと、始めたのが始まりです。そして会員のいく人かは講習を受けて、ヘルパー資格を取つたりもするように

なりました。

私たちの仲間は今、二十六人です。三十歳代から六十歳代までの幅広い年齢層の会員がいます。緑風園などの夏祭り、介護のお手伝いや買物ボランティア、町社会福祉協議会での登録ヘルパーとしての活動、一人暮らしやねたきりのお年寄りの訪問などをしていきます。

### 笑顔に励まされて

平成七年秋には一人暮らしとねたきりのお年寄りに食事をくり、食べていただきました。野菜などの食材の一部を会員が持ち寄り、町やJA、民生委員の方々の協力をいただきながら行いました。昨年は食中毒のさわぎがあつたために休みましたが、今年の秋には二回目の食事サービスを実施したいと思つています。一人暮らしのお年寄りに、できたての食事を届けたいと計画をしています。

活動を始めたばかりのころは、お年寄りを訪ねるとき、とても緊張しました。そんな不安

な気持ちも消してくれたのがお年寄りの笑顔です。きちんとしたお世話ができない私たちが、待つていてくれる人がいるのだと思うと、がんばれます。

### すてきに、優しく

老いはだれにでもやってきました。長生きするお年寄りが増えるのに反比例して子どもの数は減る一方です。そして家族は忙しい…。

そういう社会の中で、自分のおじいちゃんやおばあちゃんと同じように、よその人にも接することができ、すてきなことだと思えます。

始めて間もない私たちの活動ですが、何よりも私たち自身が優しくなれました。これからも、普段の活動を続けていきたいと思います。



人の思いが星になる。

★ 星が寄り添い、輝きだす。

## 七夕の夜のランデブー

福島・長崎・大分

三つの国見町が交流協定締結



彦星と織姫星が、一夜愛し合う七月七日。その七夕の夜に、福島県、長崎県そして大分県の国見町が、同じ町名にちなんだ交流協定を結びました。

今回の交流協定は、今年二月に長崎県国見町で行われた町制施行四十周年記念式典に招かれた富永町長が、長崎県と大分県の両国見町長に呼びかけ、締結することが決まりました。

締結式は、午後四時から、東京・霞が関の霞山ビルで行われ、三つの国見町から町長と議会議長、三つの県の東京事務所長が出席しました。

式では、協定の内容を確認した後、三つの町の町長と議長が署名、さらに立会人として各県の東京事務所長が署名しました。

調印を終えた富永町長は「国際交流も大切ですが、日本国内の交流も同じように大切です。これを契機に人や物の交流を進めたい」とあいさつしました。

また、大分県の金山尚学町長は「交流を新しい町づくりに生かしたい」と、長崎県の松尾耕之助町長は「心の通じ合う交流にしたい」とそれぞれにコメントを述べました。

具体的な交流事業は今後、三つの町で話し合って決めます

が、これまでの民間交流のほか、小中学生を親善大使に任命し相互派遣することや農業が盛んな三つの町の特色を生かした合同特産物展の開催などを考えています。産業、教育、文化と幅広い分野の交流を行い、お互いのきずなを深めていきます。





(国際いかだレース)

## 大分県国見町



国東半島の北部に位置する町で、農業が基幹産業の半農半漁の町。

平安時代から鎌倉時代にかけて仏教文化が栄え、その名残の遺跡や文化財が数多くあります。豊後水道と瀬戸内海の潮流を望む岬と入り江が交互するリアス式海岸に囲まれた、波面きらめく美しい町です。また、南は阿予山、北は周防灘に囲まれたこの町には、国道に11か所、県道に1か所、町道に8か所のトンネルがあり、山岳風景にも恵まれています。

平成7年にオープンした宿泊施設「国見温泉あかねの郷」はたくさんの方が訪れます。

面積は72.89平方\*%、人口6,431人、世帯数2,327。

## 長崎県国見町



(国見高・福島工高サッカー部親善試合)

島原半島の北部に位置する町。

長崎・佐賀・福岡・熊本の4県に沿い、瀬干湖の差が大きく古くから干潟の干拓事業が進められた有明海に面した町。温暖な気候と豊かな海に育まれた半農半漁の南高菜都北部の産業、経済の中心地です。

16世紀後半のポルトガル船の入港以来、外国貿易やキリシタン伝道の地として、また江戸時代には唯一の開港地として栄えた長崎の歴史的な背景を垣間見ることができるところでもあります。また、町の名を全国に広めた県立国見高校サッカー部のさわやかな活躍ぶりも、町民みんなの自慢です。

面積は38.20平方\*%、人口12,126人、世帯数3,262。

新しい可能性が  
広がる平成7年度交流使節団長  
国見町農業委員会 賀藤 貞さん

東北と九州、気候風土が異なる町が交流することは、とてもいいことだと思えます。日本の他の地域や町を知ること、自分の町をこれまで以上に知ることができるとはいいでしょう。外から自分の町を見つめる目を持つことも大切ですから、九州の二つの町ともそれぞれが、山を背にしながら海に面した半農半漁の町です。基幹産業の農産物では、いかに付加価値を付けて市場に出すか、また、その販路をどう拡大していくかを熱心に研究し、実践しています。私が二つの町を訪れ、これ

らを見聞きしたとき、私たちの町のものなどの特産品にも応用できないものか、と強く思ったものです。

一方、気候や地理的な違いがあっても、同じ悩みを持つています。

それは後継者問題です。若者をいかにふるさとに定着させるかは、共通の問題でもありますが、交流協定には人の交流も含まれているとのことですから、ぜひ、若者や専業農家の相互交流も実現させてもらいたいと思えます。

## これまでの交流

三つの国見町は、これまで民間団体の交流を通してきずなを深めてきました。

昭和六十二年に、私たちの町のライオンズクラブと長崎県国見町のライオンズクラブが、同じ町名にちなんで交流をしたのが始まりです。

平成三年六月に発生した雲仙普賢岳噴火の際には、仲野周一議長(当時)と佐藤忠美副議長(同)、吉田久男議会議運営委員長(同)が長崎県国見町を訪ね、町や町議会、県北中生徒会からの見舞金を手渡しました。

また、この見舞いのお礼に平成五年三月には、国見高校サッカー部が来町し、徳江運動場で福岡工業高校サッカー部と親善試合を行ないました。

一方、大分県国見町との交流が始まったのは、平成五年でした。これまで二回にわたって大分県の関係者が来町し、今年三月分には、本町の農商工後継者が大分県を訪れ、交流を深めてきました。

平成六年四月に行われた本町の町村合併四十周年記念式典と親月台文化センター落成式典には、長崎・大分両県の国見町からお祝いに来町しています。



# 健康が何より



## 健康相談

- ▼健康教室：成人病・骨粗しょう症予防などについての講義を地区ごとに行う実施
- ▼健康相談：血圧測定、基本健康診査に基づいた生活一般について地区で行う実施
- ▼機能訓練：日寄町で実施（月1～2回）



## 国見町の健康づくり事業

住環境が整い、食生活も豊かになった私たちの暮らし。その一方で、運動不足や偏食、精神的なストレスが原因と考えられる心臓病や大腸がん、などの病気が増えてきました。

健康は自分で守ることが基本です。食生活に気をつけたり適度な運動をしたり、身体のことを考えた生活習慣を身に付けましょう。

国見町では、検診や健康教室、人間ドックなどの事業を行ないながら、みなさんの健康づくりを応援しています。

## 国保会計 2.6%減

平成8年度の国民健康保険特別会計から支出した医療費（老人保健拠出金を含む）は、平成7年度に比べ2.6%の減となりました。

これは、退職者医療加入者を中心とする入院件数が減ったことによる医療費の減少が主な要因です。一方、老人医療費は伸び続けていて、国保会計から支出する額は、1億3,000万円を超えています。

## 一人あたりの医療費は県内68位

平成8年度の国保加入者一人あたりの医療費は、27万3,290円で、県内90市町村のうち68位となっています。

しかし、減少を続ける加入者や医療の高度化、専門化を考えたとき、国保の医療費は増加してゆくことが予想されます。

各種健康診断や健康教室、健康相談を通して、病気の早期発見や早期治療、治療後の事後指導など健康管理に気を付けましょう。



## 国保税率が決まりました

七月二十五日に招集された国見町議会臨時会で、今年度の国民健康保険税（国保税）の税率などが改正されました。今回の改正によって一人あたりの国保税は、七・〇％増の六万五千八百八十八円、一世帯あたりでみた場合には、三・七％増の十五万九千三百三十三円となりました。

### 国保は助け合い

国民健康保険（国保）は、加入者の所得に応じて国保税を出し合い、医療費の支払いなどに充てるものです。いざというときに備えた「相互扶助」を目的としています。

五月現在で国見町の国保に加入している世帯は一千六百八十三世帯、加入者は四千六百四十四人です。これは、町の全世帯の約五三・五％、全人口の三四・六％を占めています。

## 一般

▼基本健康診査：四十歳以上の方。血圧測定、尿検査、心電図、眼底検査、血液検査などを実施▼結核検査：十六歳以上の方。胸部レントゲン撮影▼肺がん検査：四十歳以上の方（レントゲン）読影は結核検査と併せて実施。喀たん検査は喫煙指数や血たんなど検査対象者に通知▼女性の健康診査：十八歳から二十九歳までの女性。基本健康診査と

合わせて実施▼骨粗しょう症検査：十八歳から六十九歳までの女性▼胃がん検査・大腸がん検査：四十歳以上の方▼乳がん検査：三十歳以上の女性▼人間ドック・脳ドック：一泊または日帰りの検査。今年から脳検査も実施（これらの検査の申し込みについては「かいらん」でお知らせ）▼病歴別健康教室：基本健康診査で異常が見つかった方を対象に、その症状ごとに実施。医師や栄養士の講義や調理実習など



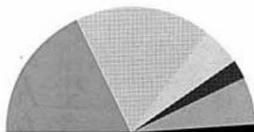
## 負担軽減のために4090万円を充当

今年度の国保特別会計の予算額は、七億二千五百九十九万九千円です。

町では、繰越金などから四十九十万円を充当しながら、国保加入者の負担軽減を図っています。今年度の国保税総額は二億六千五百八十三万九千円で、平成八年度に比べ三・五％の増となりました。

国保の医療費が少なければ、加入者が負担する国保税も少なくなります。元気に暮らすことは、かけがえのない財産です。健康診断や人間ドックをしよう

### ★国保財源の内訳



保険税	265,839千円	繰越金	33,163千円
医療費助金	258,694千円	繰入金	86,344千円
事業給付金	65,573千円	その他	10,936千円

ずを利用して、健康管理に気を配りましょう。

### 2割減額該当者は申請を

国保税は、条例で定める金額以下の所得者層を対象に、均等割と平等割について7割、5割、2割の減額を行なっています。このうち、2割減額対象者は、申請手続きが必要です。該当者には、今年度の確定通知と一緒に申請書をお送りしますから、必要事項を記入のうえ、8月31日までに税務課へ提出してください。

★問い合わせ 税務課 課税係 ☎(85) 2778

## 子ども・妊婦

▼3か月児・九か月児健診：医師の診察、身長や体重の測定、調乳、離乳の方法など▼一歳六か月児健診：内科・歯科診察など▼三歳児健診：内科・歯科診察や視力・聴力検査▼育児教室：身長・体重測定、離乳食など▼股関節脱臼きゆうげん検査：四か月児に通知。レントゲン撮影▼各種予防接種▼妊婦健診：一回まで無料



元氣な町づくり

# 義経まつりが始まります



この事業は福島県の商業活性化事業の指定を受けて、国見町商工会が主催、国見町をはじめとする町内の各種団体が共催する事業です。

昨年に続く二回目の今年は、八月十五日の盆踊りと十六日の花火大会、そして九月二十三日の武者行列の二回に分けて行います。

8月15日(金)

★もちつき大会…

▼時間…午後3時から4時 ▼場所…藤田商店街

★盆踊り…

▼時間…午後6時30分 ▼場所…藤田商店街

8月16日(土)

★灯ろう流し・花火大会…

▼時間…午後7時30分 ▼場所…観月台公園

9月23日(祝)

★歩行者天国…

▼時間…午前10時 ▼場所…藤田商店街

★武者行列…

▼時間…午後1時30分 ▼場所…藤田商店街

みんな、  
生き生き



国見町商工会長

紺野 平二郎さん

昨年から始まった義経まつりは、商店街と地域の活性化を目的にした事業です。

商店街は、流通構造の変化で集客力が落ち、以前のようにざわいがなくなくなり、この沈滞ムードを何とかしようと、町や県の方たちと相談したことが「義経まつり」として実現しました。

しかし、このイベントは、決して商店街だけの営利目的で始めたものではありません。むしろ、全国に誇るべき「阿津賀志山防塁」にちなんだ町民総参加のイベントを通して、町の活性化を図ること、子どもたちをはじめ地域の人たちに国見町の良さを知ってもらおうことの二つに力を入れた事業です。

主催者の私たち、事業の中心的役割を担う商工会の若者たち、そして協力をしてくれる町をはじめとした団体の方々の一生涯命さを見るにつけ、それが報われるようなイベントに育てたいと思います。町が元気になる、そしてみんなが生き生きした顔で暮らせる町づくりのお手伝いをしたいと思います。



きれいに  
なりました

クリーンアップ作戦



## 3千人が参加

河川愛護月間に合わせた国見町のクリーンアップ作戦は七月六日、町内を流れる普蔵川や滝川などの主要河川を中心に、五十七町内会で繰り広げられました。今年のクリーンアップ作戦には、六月中に終えた町内会を含め約三千人が参加、河川や道路の清掃活動に汗を流しました。

このうち、小坂町内会では午前六時から五十五人が参加し、側溝や道路の清掃をしました。小坂地区を巡った富永町長は、「朝早くからご苦労さまです。みなさんの力で、とてもきれいになりました。これからも一緒に、町をきれいにしていきたいと思います」とあいさつしました。

その他の町内会でも、河川や河川敷に捨てられた空き缶やプラスチックなどのごみを拾ったり、雑草の刈り払い、街路や花壇の除草などを一生懸命行いました。

今回の作業で集められたごみの量は十で、昨年比で二割も少なくなりました。





# ありがとう ジョアナ先生

with lots of LOVE!!



東北中学校で英語指導助手を務めたジョアナ・バイクロフトさんの送別会が、七月十一日に開かれました。  
はじめに富永町長が「三年間、中学生の英語指導はもろろん、小学生の国際理解にも協力してくださってありがとう」とあいさつ。続いてジョアナさんが「国見町にいた三年間、山のようにたくさんのお話を学びました。きっといろいろなことに役立つと思います」としようずな日本語で感謝のことは述べました。また、富永町長が記念

品として掛け軸を贈り、労をねぎらいました。

ジョアナさんは平成六年七月に来町し、中学生に英語を教えるとともに、小学校もたびたび訪ね、小学生とも交流を重ねました。三年間、ありがとう。

よろしくね、

サーラ・バイハム

です



ジョアナさんの後任は、サーラ・バイハムさんです。

サーラさんは、マンチェスター大学で地理学を専攻しました。これまでに、インドで英語を教えたり、交換留学生としてフランスを訪れたりした行動派です。また、ヨガや水泳、ハイキング、コンサート、観劇、旅行が好きな二十二歳です。



を向けて

葬式手仕う

嫁は幽霊



これは、石母田で聞いた  
はなし...

◇  
すこしむかし、ある家でお嫁さんが亡くなり、そのお葬式に大勢の人が集まったそうです。すると、その家のお姑さんが出てきて、ああして欲しい、こうして欲しいと注文をつけました。集まった人たちは「何としたもんだ」と思いながらも働き始めました。  
◇  
いつの間にか人々に交じって、流しの所に後ろ向きに立っている人がいます。それがどう見ても亡くなったはずのお嫁さん...。さあ、気が付いた人はぞっと

して、すぐには声も出せません。やつと声をしぼり出して「お嫁さんの幽霊が出たあ、幽霊だあ」と悲鳴をあげると、大さわぎになりました。  
ところで、その悲鳴を聞き付けて飛んできたのがお姑さん。幽霊の後ろ姿を一目見るなり、くつと目をむき、「こらつ、何で姿を現したつ。だれに恨みがあるんだつ」と、怒鳴りました。すると、幽霊の姿は見る間に薄れ、ぼわんと消えてしまったとき。

おま再発見  
くにみの  
民話かるた



9月は



# 保健だより

保健増進係 ☎(85)2783

## \*\*\* 乳児健診 \*\*\*

該当乳児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成9年6月生まれ） ・9か月児（平成8年12月生まれ）	10月23日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

《おかあさんへ》

- ☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて
- ☆母子手帳を忘れずに！

## \*\*\* 育児教室 \*\*\*

該当乳児	実施日	受付時間	会場
平成9年3月～ 平成9年4月生まれの乳児	10月2日(休)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

《おかあさんへ》

- ☆身長・体重測定、離乳食、予防接種などについて
- ☆母子手帳を忘れずに！

## \*\*\* 小児マヒ予防ポリオ生ワクチン投与（2回目） \*\*\*

該当乳児	実施日	受付時間	会場
平成8年1月～ 平成8年12月生まれの乳幼児	藤田地区 10月28日(火) 藤田地区以外 10月29日(休)	午後1時30分～ 午後2時	観月台文化センター 体育館

《おかあさんへ》

- ☆ポリオ生ワクチン投与は、6週間以上の間隔で2回実施します。また、生後90月まで投与可能で、該当月以前に生まれたお子さんで未実施の方も受けられます。
- ☆予防接種予診票をお持ちの方は、ポリオ予診票（白色）に必要事項を記入し持参してください。
- ☆このワクチンは2回投与しないと効果がありません。今年1回だけだったお子さんは、来年もう一度投与を受けてください。
- ☆予防接種は健康なときに受けるのが原則です。お子さんにちょっとでも異常がある場合は、必ず医師や保健婦に申し出てください。
- ☆母子手帳も忘れずに！

### 今後の予定

- ☆大腸がん検診  
(11月10、13日)
- ☆献 血  
(11月14日)
- ☆3か月児  
9か月児検診  
(11月20日)
- ☆胃がん検診  
(11月26、27、  
28日)

### 健康づくりの

### 3要素

健康づくりには、栄養、運動、休養の三要素があげられます。「当たり前すぎる」といわれなくても、以外と少ないんです。この三つをバランス良くとっている人...。

#### ★栄養

日本人の栄養摂取は、ほぼ必要量を上回っていますが、男、女とも若い年代層ではカルシウムが不足し、女性では鉄分も不足気味です。目標は、一日三千キロカロリー。

#### ★運動

適度な運動は、高血圧や動脈硬化を防ぎ、糖尿病などの治療に効果があります。通勤や買い物の歩行、掃除、ふとんの上げ下ろしなど、意識的に体を動かしましょう。

#### ★休養

栄養や運動と並んで健康づくりの要素が十分な休養です。時には、ゆったりと心と体を休ませましょう。







## 国見町敬老会



平成九年度の国見町敬老会は、九月十一日(木)に観月台文化センターで行ないます。式典とアトラクションは、午前十時から体育館で行ない、午後一時からはホールで「扇ひろ子歌謡ショー」をお楽しみいただけます。

なお、これらの催しへのご招待は七十歳以上の方々に、後日ご案内いたします。

★問い合わせ 保健福祉課

福祉係 ☎(85) 2793

## 福祉フェスティバル'97

9月13日(土)~14日(日)

観月台文化センター  
高齢者・障害者・文化団体・芸能発表・パネル展・介護機器・補装具展示・バザーなど

## 検察委員会はね

検察審査会は、検察官の不起訴処分が正しいかどうかを審査することを主な仕事としています。被害者や告訴・告発をした人は不起訴処分に対して、不服申立てをすることができます。審査の申立て費用は無料、秘密は厳守されます。

★問い合わせ

福島検察審査会事務局

☎(34) 2156

今年も町民運動会を行ないます。たくさんの方の参加をお待ちしています。

10月10日(体育の日)

午前8時から受付(雨の場合は12日に順延)  
上野台運動公園 総合運動場

## いい汗流そう 町民大運動会



★問い合わせ

生涯学習課 体育係

☎(85) 2676

## 昭和50年から昭和52年生まれの方へ

★追加予防接種

次のような場合には、もう一度ポリオワクチンの予防接種を受けることをお勧めします。

- ・ポリオウイルス常在国に渡航するとき
- ・子どもがポリオワクチン接種を受けるとき

昭和五十年から昭和五十二年までに生まれた方(現在二十歳から二十二歳)は、ポリオの免疫を保有している割合が他の年齢層に比べて低いことが、厚生省の調査でわかりました。

ポリオは小児まじともいわれ、過去に日本でも大流行した伝染病です。ポリオは感染者の便の中にポリオウイルスが排泄され、これが口に入ることよって感染します。感染した場合には、感染者の二百人から千人のうち一人の割合でマヒが現れています。

現在、日本では、乳幼児期にポリオ予防接種をしているために流行が抑えられていて、ウイルスの確認もされていません。

しかし、免疫を持っていない人がポリオウイルス常在国(東南アジアやアフリカなど)を旅行した場合、ポリオに感染し、発症する可能性があります。また、現在投与されているポリオワクチンウイルスが体外に排せつされ、このウイルスが人から人へとうつっていく間に、弱まった毒性が強い力を持ち、発症する可能性があります。

★問い合わせ

保健福祉課 保健増進係

☎(85) 2783

※前もって電話で問い合わせください。  
☎(22) 6151

大原総合病院



● ● ● ● ●  
国税だより

# 保険と税

病気やケガに備えて加入している生命保険。これにも税金が関係しています。

▼生命保険を支払ったとき

あなた自身やあなたの家族を受取人とする生命保険や生命共済などの保険料を支払ったときは、その年の支払額に応じて一定額(最高十万円)が、生命保険料控除として所得額から控除されます。

▼保険金を受け取ったとき

生命保険契約に基づき、一時金や年金を受け取った場合は、その保険料をだれが負担していたかによって、相続税や贈与税、所得税が課税されます。

★問い合わせ

福島税務署

☎(34) 3121

● ● ● ● ●  
お母さん

## 児童扶養手当 特別児童扶養手当

があります



離婚などで父親がいない子どもを育てているお母さんやおじいさん、おばあさんに支給されるのが児童扶養手当です。支給資格が生じたときから五年が過ぎると、請求手続きができなくなりますから、ご注意ください。また、特別児童扶養手当は精神や身体に障害を持つ子どもと一緒に生活している方に支給されます。

★問い合わせ

保健福祉課

☎(85) 2793

### 9月の心配ごと相談

5日(金) 佐久間モトさん 吉田 勝基さん  
16日(火) 阿部 俊恒さん 佐久間フミさん  
25日(木) 後藤 一さん 松浦ひろ子さん  
場所 役場(2階)相談室  
時間 午前9時~正午

### 人口と世帯

人口7月1日現在  
男 5,578人(-2)  
女 5,981人(-3)  
計 11,559人(-5)  
出生 5人 死亡 5人  
転入 18人 転出 23人  
世帯 3,127世帯(+1)

### 観日台 文化情報



問い合わせ ● ● ● ● ●  
生涯学習課 文化振興係 ☎(85)2676

### 8月

31日(日) 音楽のおくりもの  
わいわいコンサート…午前11時  
アフタヌーンコンサート…午後2時  
高校生以上1500円・小中学生 500円

### 9月

6日(土) 福原百慧 篠笛の夕べ  
午後7時 入場無料  
27日(土) 吉原知子 スポーツ講演会  
講演会…午後1時30分  
バレーボール教室…午後3時  
入場無料

### 10月

4日(土) イルカ コンサート  
午後6時30分 3000円  
18日(土) 岸千恵子 民謡ショー  
午後2時・6時(2回) 1500円



### 結婚おめでとう

### 誕生おめでとう

お子さん 保護者

市川 達也さん・智嘉子さん(宮東)

佐久間武雄さん・洪玲さん(第2)

鈴木 達史さん・奈美さん(川内)

大津 達也さん・由紀さん(第3)

大竹 宏紀さん・恵美さん(滝山)

鈴木 純治さん・理江さん(中部)

片平 聖哉さん 明さん・和美さん(藤田光陽)

寺島のぞみさん・弘之さん・貴美さん(第4)

菅野 大成さん 俊治さん・幸子さん(第3)

後藤 涉さん 春美さん・敏子さん(第3)

佐藤 託己さん 智秋さん・アリアさん(錦町)

穴戸柊太郎さん 則雄さん・道子さん(宮町北)

高橋 翼さん 幸夫さん・道子さん(宮町北)

吉田 有里さん 長一さん・俊枝さん(第4)

赤井畑 諒さん 直明さん・幸子さん(第4)

### おこやみ申し上げます

岡田ふさぎさん(貝母田)

阿部 光三さん(石田北)

高橋 良子さん(貝母田)

奥山 七郎さん(源山山)

阿部 トヨさん(大木戸)

實沢 トヨさん(第7)

藤田 トヨさん(宮町北)

吉田 嘉藏さん(第4)

(7月20日届出分まで)



## 趣味のグループ学習

～阿津賀志学級～

阿津賀志学級の陶芸教室は七月十日に開講し、四週にわたって四回開かれました。初日の十日は陶芸家の佐久間一先生から用具の名前や使用法の説明と「ひもづくり」の実演がありま



# つうしん

国見町教育委員会生涯学習課

観月台文化センター

☎ (85) 2676

FAX (85) 2707

した。二十四人の学級生は、先生の手さばき感心しながら、さつそく粘土二ヶを使つて、花びん、どんぶりなど思い思いの作品づくりに取り組みました。

仕上げ、素焼き、釉がけ、本焼きをして最終日には、一人ひとりの作品が出来上がりしました。

## 森江野スポAが優勝

～スポーツソフト大会～

第十四回スポーツ少年団ソフトボール大会は、七月六日に上野台総合運動場で行われました。今大会には六チームが出場し、プロックごとのリーグ戦を行った後、トーナメント戦で栄冠を



争いました。日ごろの練習の成果を十分に発揮し好勝負を繰り広げました。

▼優勝：森江野A▼準優勝：大木戸▼三位：藤田

## ダンベル体操で筋力トレーニング

公民館主催のダンベル体操教室が六月九日より三十日まで四回行われました。

スポーツメイトウイン福島の只野隆博先生を講師に招き、二十人の受講生は、ダンベルを手を動かしました。また、ストレッチや呼吸法も併せて行い、日常生活への運動の取り入れ方を学びました。



回を重ねるにつれスムーズになり、参加者は楽しくさわやかな汗を流しました。

## 福島県消費生活センターを見学

◆くにみ女性教室◆

くにみ女性教室では、七月九日に消費生活センターを見学しました。

あいにくの雨の中、教室生十八人が参加し、食品添加物についての説明を受けた後、展示ホールを見学しました。

食品添加物の種類と役割、加工食品の表示の見方、輸入食品などについての説明を受け、今まではとまえた一違う視点で食品を見ることができるようになりました。

## ◆成人学級◆

七月十一日に行なわれた成人学級の第四回学習会(施設見学)も県消費生活センターの見学でした。

県消費生活センターの職員から、消費生活に関係するいろいろな問題の背景などについて、生産・販売・消費の三つの点から体系的に、とても参考になる説明を聞きました。

帰途に古閑裕而記念館に寄り、「長崎の鐘」や「君の名は」など懐かしい名曲の数々に浸り、しばし気持ちの安らぐひとときを過ごしました。

## パソコン教室 (初級編) 受講生募集

- ◇開講日 平成9年10月以降・1講座5日間(毎月開催予定) ◇場所 観月台文化センター
- ◇時間 午後6時～8時 ◇定員 12人(定員になり次第締め切り) ◇講師 中村勉先生ほか
- ◇講習内容
  - ・1日目 パソコンの概要と環境
  - ・2日目 Windows95に慣れよう!
  - ・3日目 Windows95の機能を知らそう!(1)
  - ・4日目 Windows95の機能を知らそう!(2)
  - ・5日目 パソコンの活用

- ◇機種 日立FLORAS00V3GM ◇受講料 3,000円(テキスト、フロッピーディスク代を含む)
- ◇申込み 観月台文化センター事務室で受講料を添えてお申し込みください。電話での受け付けはしません。受講日については本人あて通知します。
- ◇問い合わせ 生涯学習係 ☎(85) 2676

公民館で開催している「パソコン教室(初級編)」の10月以降の受講生を募集します。



六月二十五日に開かれた子育て教室・第五回学習会のテーマは「子育てと幼児の病」でした。昨年は、町の保健婦さんに幼児に多い病気やけがとその予防法などについて、ご指導いただきましたが、今年はお医者さんのお話も聞きたかったと、受講生から希望が出されたため、公立藤田総合病院小児科の岸幹二先生に講師をお願いしました。

○歳から三歳までの子育てで最も多い病気が、発熱と下痢であることから、先生はこの二つを中心に、詳しく話してくださいました。

発熱については、一般的に幼

## 生涯学習



### 子育て教室

六月二十五日に開かれた子育て教室・第五回学習会のテーマは「子育てと幼児の病」でした。昨年は、町の保健婦さんに幼児に多い病気やけがとその予防法などについて、ご指導いただきましたが、今年はお医者さんのお話も聞きたかったと、受講生から希望が出されたため、公立藤田総合病院小児科の岸幹二先生に講師をお願いしました。



児は成人より平熱が高いこと、午前より午後の方が一度ほど高いことなどを、グラフを用いた具体例を挙げたりしながら説明してくださいました。

また、下痢についても、年齢によって異なることなどを詳しく話してくださいました。

発熱も下痢も、元気がよければあまり心配しないことや、0-157の予防法、はだして歩くことの勧めなど、今すぐに役立つことをたくさん話してくださいました。

最後に、教室生からたくさん質問が出され、予定の時間は、あつという間に過ぎてしまいました。

### ふるさとの歴史学びませんか

郷土史研究会会員募集

郷土史研究会では会員を募集しています。ふるさとの歴史について学びたい会です。一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、事務局または地区の会員にお問い合わせください。

▼年会費：二千元 ▼活動内容：ふるさとの歴史についての研修会、会報発行（年一回）、研修旅行（年二回）、町文化祭参加など

★入会申し込み、問い合わせ

郷土史研究会事務局

八巻健治 ☎(85) 21773  
内池育男 ☎(85) 33200

#### 一般図書

- ・山姥 (坂東眞砂子)
- ・同心円 (野坂昭如)
- ・逃亡 (帯木蓬生)
- ・奇貨居くべし (宮城谷昌光)
- ・奇跡の人 (眞保裕一)
- ・鉄道員 (浅田次郎)
- ・花図鑑500 (匿名文男)
- ・アトビー治療最前線 (NHK取材班)
- ・手づくり爆薬 (三保貼子)
- ・チョコレート革命 (俄方智)

#### 児童図書

- ・森の学校のなかまたち (きたむらえり)

- ・大きな大きなおだんごおなべ (パール・マール)
- ・いえてだっぴっぴ (柳生まろこ)
- ・わらべうた (近藤のぶ子)
- ・ラプツェル (天沼春樹)
- ・きかいのなかみ (稲見辰夫)
- ・いろいろな場所の虫さがし (藤丸篤夫)
- ・めいたんていかメラちゃんシリーズ (ディビット・アドラー)
- ・空白の日記 (ケーテ・レヒアイス)
- ・風の又三郎 (ますむらひろし絵)

新しい本が届きましたよ 文化センター図書室

### 組み紐教室

- ◇開講日 9月5日、9月12日、19日、26日(金曜日・4回)
- ◇場所 親月台文化センター
- ◇時間 午後1時30分～3時30分
- ◇定員 15人
- ◇講師 豊縄流教授 樋口豊縄康先生
- ◇内容 帯締め(丸紐)・希望によりキーホルダー
- ◇対象 国見町に居住。又は町内の職場に勤務する方
- ◇材料費 3,000円程度
- ◇申込み 8月27日(水)まで生涯学習係へお申込ください。(電話での申込みも受け付けます)

### 趣味の園芸教室

- ◇開講日 9月5日、12日、19日(金曜日・3回)
- ◇場所 親月台文化センター
- ◇時間 午前10時～11時30分
- ◇定員 30人
- ◇講師 元福島県農業改良普及所職員 新井博先生
- ◇内容 庭木・花作りの基礎知識、ハーブの栽培実習
- ◇対象 国見町に居住。又は町内の職場に勤務する方
- ◇材料費 500円
- ◇申込み 8月28日(木)まで生涯学習係へお申込ください。(電話での申込みも受け付けます)

### 町民陶芸教室

- ◇開講日 8月30日、9月6日、20日、27日(土曜日・4回)
- ◇場所 親月台文化センター
- ◇時間 午前9時30分～11時30分
- ◇定員 20人
- ◇講師 東和町在住陶芸家 佐久間一先生
- ◇内容 手びねり、タタラ作り、絵付け、軸掛け等作品製作
- ◇対象 国見町に居住。又は町内の職場に勤務する方
- ◇材料費 1,500円
- ◇申込み 8月25日(月)まで生涯学習係へお申込ください。(電話での申込みも受け付けます)

## 受講生募集中



**楽**

7月16日、老人クラブの女性会員の球技大会が行なわれ、85人の参加者はボウリングや輪投げなどに挑戦しました。一人ひとりの競技が終わるごとに、体育館はにぎやかな笑い声に包まれました。



しく、にぎやかに

**が**

がんばってほしい

県民スポーツ大会、全国インターハイ(写真)、少年ソフトボール大会に出場するそれぞれの個人と団体を富永町長が「思う存分、がんばって」と、激励しました。



**あ**

りがとうございました



伊勢文朗さんが「ボランティア活動に役立てて」と、国見町赤十字奉仕団に寄付をしました。この奉仕団は、一人暮らしのお年寄りへの手作り年賀の作成などを行っています。

**よ**

ろしくお願いします



人権擁護委員に梅津幸夫さんが任命されました。人権擁護委員は、人権侵害の救済を行うとともに、法務局が行う人権相談の相談員などを務めるボランティアです。

ちびっかたけなほ

冷ぞうこ

森江野小 松浦隆浩

冷蔵庫の中は

やさしいジュースでいっぱい

まるで、まんじん電車のごとく

いつもはからっぽみたいただけと

買ひものをするといっばいになる

冷蔵庫の中は

大雪がふった後のように

やさしいジュースが

がたがたふるえている

まるで一年間ずっと

大雪のようだ

「児童生徒文庫

くみ 第29号から

編集・発行/国見町 総務課

〒969-17

福島県伊達郡国見町大字藤田字

一丁田二の1

☎ 0245-85-2114

FAX0245-85-2181